

## 日本語教室ボランティアのためのパワーアップ講座 ～理解を深める講座編～

**第2回:2015年1月18日(日)13時～17時10分**

### 多文化共生…“大学”に何ができる？

講師・メインパネリスト ゆうき めぐみ **結城 恵氏**

群馬大学 大学教育・学生支援機構 教育基盤センター・教授

専門は教育社会学。エスノグラフィの手法を用いて、生活者の視点から多文化共生のあり方を探る。「多文化共生研究プロジェクト」(2002-2004年度文部科学省地域貢献特別支援選定事業)、「多文化共生社会の構築に貢献する人材の育成」

(2005-2008年度文部科学省特色ある大学支援プログラム選定事業)、群馬大学・群馬県「多文化共生推進士」養成ユニット(2009-2013年度文部科学省社会システム改革と研究開発の一体的促進選定事業)の企画・運営責任者。東京大学教育学研究科・教育学部客員教授を併任。



#### 【第1部】 13:00～14:30 講演「“大学”に何ができる？」 結城 恵氏

結城先生には先生の「ヒストリー」を語っていただきたいとお願いしています。大学に属する研究者、教育者というお立場で、結城先生がどんな風に「多文化共生社会に生かされる人材の育成」を進めておいでなのか、他団体と連携をはかって様々なお取り組みを実現させておいでなのか、お話をさせていただきたいと思っています。

第1回に引き続き、第2回の講座でも、1部、2部を通じて「様々なルーツをもつ人間が、日本という一つの国の中で、共に生きていくということ」について学び合い、考え合える時間となればと願っています。

#### 【第2部】 14:40～17:10 パネルディスカッション

##### 「多文化共生社会における大学の果たしうる役割とその可能性」

#### ◆パネリスト◆

結城 恵氏 群馬大学 大学教育・学生支援機構 教育基盤センター教授

小林 あけみ氏 太田市立小学校教員 国際教室担当 / 「多文化共生推進士」養成ユニット履修生

坂本 裕美氏 太田市立小学校バイリンガル教員 / 「多文化共生推進士」養成ユニット履修生

ファシリテーター ひとみ やすひろ **人見 泰弘氏**

名古屋学院大学 外国語学部専任講師

専門は国際社会学。とくにヒトのグローバル化について研究している。

大学では国際移民論や国際文化論、国際協力実習などを担当。ゼミでは多文化共生をテーマとして活動しており、2014年度は東海圏のNGO有志と協働しつつ、名古屋市内で外国人が経営するお店や宗教施設をまわる「わくわくツアー！名古屋で世界旅行」をゼミ生と企画・運営した。

特定非営利活動法人 名古屋難民支援室(DAN)で理事も務める。



**主催：社会福祉法人さぼうと21** <http://www.support21.or.jp>

【お問い合わせ先】〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 3階

TEL. 03-5449-1331 FAX. 03-5449-1332 [e-mail] kensyu@support21.or.jp

本チラシ裏面「申込書」に必要事項をご記入の上、FAX(03-5449-1332)にてお送りください。

電子メール(kensyu@support21.or.jp)にてお申込みの場合は同様の内容をメール本文にお書きください。

2014 年度「日本語教室ボランティアのためのパワーアップ講座～理解を深める講座～」  
開講に当たり…

2013 年、外国人住民の支援・応援の現場を訪ねる中で「もっともっとゆっくり話を聞きたい」と思った二人の「専門家」がいます。医療通訳研究会代表の村松紀子さんと群馬大学教授の結城恵さん。「日本語教育」とは違う立場、異なる目線で魅力的な活動をしているお二人です。お二人の共通項は「多文化」「専門性」「つなぐ/つながる」。

村松さんにお越しいただいた第1回（2014 年 11 月 30 日実施）も期待通り、多くを学び、考えるきっかけをいただきました。参加者の皆さんからも「豊富なご経験の中での事例から学ぶことがたくさんありました」「通訳者としての技術ではなく、医療従事者、通訳者、患者を取り巻く全体的な問題についてと解決への希望に満ちたお話でとてもよかった」など、ご感想をいただいています。

2015 年 1 月 18 日、新しい年の幕開けにふさわしい 1 日となることを確信しています。

「生まれ育った文化や社会が異なる人々がともに生きる社会。そこで生まれる葛藤や軋轢は、実に複雑多様である。群馬県においても、「多文化共生」に関わる地域での課題は山積し、教育、医療、社会福祉、防災等、多様な領域で葛藤や軋轢が生じていた。解決するより早く顕在化する次の問題。対症療法で終わってしまう実践。この状況に疲弊していく行政担当者も少なくなかった。これらの課題解決を前向きに取り組み、地域活性化につなげる人材を育成し、いつでも協働体制を組める拠点を作る必要がある。群馬大学・群馬県「多文化共生推進士」養成ユニットの目的はここにある。多文化共生に関する地域課題に対応しなくてはならないのは、行政関係者だけではない。教育、保健・医療、社会福祉、防災、安全・安心、経営、コミュニティーの活性化等、生活のあらゆる局面で対応する人材が必要である。本事業では、これら多様な領域の最前線で活躍する専門的職業人を募り、選考を経た履修生を 3 年間かけて養成する。」（『自治体国際化フォーラム』2012 年 8 月号「多文化共生」の視点で地域を活性化する— 群馬大学・群馬県「多文化共生推進士」養成ユニットの挑戦 —」より一部抜粋）

### 【交通のご案内】

JR 目黒駅東口より徒歩 3 分。

東口階段を降りて左手に進むと、目黒通りにつきあたります。  
道路を渡らず、右に曲がるとコンビニ（サークル K）が見えます。  
そのビルの 3 階がさぼうと 21 です。

当日、皆さまにお会いできますことを心よりお待ちしております。



### 申込書送付先

メールアドレス： kensyu@support21.or.jp FAX 番号： 03-5449-1332  
郵送先： 〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 3 階

- ※ ご記入いただいた情報は、無断で本講座以外の目的に使用することはありません。
- ※ 今後、当団体が主催する講座のご案内やニュースレター等のご送付を希望されますか。（はい・いいえ）

### 【第 2 回】理解を深める講座 参加申込書

【お名前】 <small>ふりがな</small>	【お電話番号】 ※ご連絡が取りやすい番号の記入をお願いいたします。
【ご住所】 〒 -	
【E メールアドレス】	@
【ご所属（ボランティア教室など）】 名称：	活動地域：
★ご質問等があれば、お書きください。	